



9月号

令和6年9月2日

神根小だより

川口市立神根小学校

在籍児童274名16学級



パリオリンピックから

校長 篠崎 弘敬

7月の下旬から8月の中旬にかけフランスのパリで開催されたオリンピック。17日間の熱戦を終えました。オリンピックに出る選手は、国の代表として自分の人生をかけ、人間の限界に挑戦しつづけた人たちです。1日に何時間も競技の練習し技を磨き体をつくり苦しいことにも耐えてきた人達です。オリンピックを見る度に私は、この選手たちは「どれだけ泣いてきたのだろう。どれだけ緊張した場面をくぐりぬけてきたのだろう。」と想像してしまいます。どの選手も輝いて見えますし、どの選手も応援したくなります。

そんな中、地元川口出身の湯浅亜実選手の金メダル獲得のニュースに一喜一憂してきました。日本選手団は他国開催のオリンピックで最高の45個のメダルを獲得したそうです。日本人としてとても誇らしく嬉しい気持ちになりました。

パリオリンピックでは、選手たちの見せる様々な姿に大きな感動をもらいました。特に印象の強かった競技は、男子の体操競技・スケートボードです。体操競技では、技を失敗してしまった選手を励ますチームメイトの姿が印象的でした。

「諦めるな！諦めるな！」「絶対いける！絶対いける！」と映像を通してでもその情熱と緊迫感は伝わってきました。スケートボードの堀米雄斗選手は優勝後のインタビューで「ここまでくるのに諦めかけたこともあった。オリンピックに行けるかもわからない状況で1パーセントの可能性を最後まで信じてそれが最後に実ってすごくうれしい」と語っていました。私が強く心を打たれたのは、「仲間を信じ励ますこと、最後まで諦めない気持ち」です。

神根小学校の目指す児童像には、みんな仲良く助け合う子、ねばりづよい子が掲げてあります。本校の子供たちには、体操競技の選手のような「仲間を助け合う心」や堀米選手のような「諦めない心」を目指して頑張っていて欲しいと願っています。

保護者の皆様・地域の皆様におかれましても本校の児童が困っている人や友達を助けたり粘り強く何かに取り組んでいたりする姿を見ましたら褒めてあげていただければ幸いです。その賞賛が子供たちの励みになりエネルギーに替わりますのでお願いできればと思います。

2学期は音楽会、持久走大会など様々な学校行事があります。子供たちの一生懸命な姿をたくさん見てオリンピック以上の感動をもらいたいと思います。また、2学期以降外部から講師を招聘した新しい取り組みにも挑戦していきたいと考えております。学校行事や日常の指導を通して学校教育目標の達成のために努力して参ります。保護者の皆様、地域の皆様のお力をお借りして2学期も教職員一同子供たちのために頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。